



2024年9月26日

各 位

会 社 名 株式会社マーケットエンタープライズ  
代表者名 代表取締役社長 小林 泰士  
(コード：3135、東証プライム)  
問合せ先 常務取締役 今村 健一  
(TEL. 03-5159-4060)

## アナリスト向け I R 説明会に関する質疑応答概要の公開について

日頃より、ご支援賜りまして誠にありがとうございます。

当社は、2024年9月19日に、日本証券アナリスト協会主催アナリスト向け I R 説明会を開催いたしました。ご出席いただきました皆様からご質問を賜り、以下のとおりご回答を行っておりますのでお知らせいたします。

### 【質疑応答要旨】

Q1.

2025年6月期の業績見通しで営業利益を7億円とされていますが、2024年6月期と比べ、営業利益を構成するセグメント比率に大きな変化はないという理解でよろしいですか？

A1.

営業利益のセグメント別内訳は開示しておりませんが、2024年6月期と比べて大きな変化はないと考えております。

Q2.

現在行っている差金決済型自社株価先渡取引については、引き続き延長することに意義があると考えていらっしゃるということでしょうか？

A2.

そう考えております。これから、業績向上(株価向上)に自信のあるタイミングで本取引の延長を決定しており、2024年6月期については通期予想の下方修正を行ったこともあり不安定な結果となりましたが、今後はしっかりと業績を上げ、利益向上を図っていきたいと考えております。

Q3.

これまでずっと無配が続いていますが、今後の配当開始に関する方針を教えてくださいませんか？

A3.

弊社としては、まずは業績の向上に注力してまいります。先ほども CAGR (年平均成長率) についてお話しさせていただきましたが、弊社は長らく、成長企業としてしっかりと業績を上げ、株価を上昇させることが、株主や投資家の皆様へのもっとも大きな還元だと考えてきております。

この方針が変わりはありませんが、最近では配当や株主優待など、具体的株主還元策の検討も重要だと認識しており、2024年6月期に株主優待制度を新設したのも、その一環です。

配当に関しては、現時点では具体的な配当開示時期について明確には決まっておりませんが、今後具体的に検討してまいりたいと考えておりますので、ご理解いただければ幸いです。

Q4.

プライム市場への上場維持に向けた具体的施策について、どのようなものを検討されていますか？

A4.

現在、弊社はプライム市場に上場しており、同市場への残留を目指しております。プライム市場に残留するためには、弊社の場合、流通株式時価総額が100億円以上である必要があり、現状の流通株式比率で単純に考えると、時価総額を250億円近くまで引き上げる必要がございます。

弊社では2025年6月期において過去最高益（営業利益ベース）を見込んでおり、まずはしっかりと業績を向上させることで企業価値の向上を図り、その結果、プライム市場の上場維持につながるものと認識しています。

一方で、万が一プライム市場への残留可能性が低くなった場合に備え、スタンダード市場への移行に関する検討も同時に進めております。仮にプライム市場での上場維持が困難な見通しとなった場合でも、投資家皆様の投資機会を損なわないよう、スムーズにスタンダード市場への移行手続きを進めていくつもりです。

以 上